

2018年(平成30年)5月4日(金曜日)

住み続けたい街へ
公明が政策を提言

名古屋市

公明党名古屋市議団(三輪芳裕団長)はこのほど、市役所で河村たかし市長に会い、住み続けられる街づくりに向けた政策提言を行



つた【写真】。

市は昨年8月に「なごや集約連携型まちづくりプラン(案)」を発表。駅周辺

に商業・サービスなどの都市機能を誘導する取り組みをさらに進めることなどを打ち出した。これを受け、党市議団は、街づくり政策の目標とその実現に向けた具体的な政策を提言した。提言では、新産業創出による働く場の確保と住みやすい魅力ある街づくりを目標とするよう主張。具体策として①バスターミナルな

ど低・未利用の公共用地を民間企業などに貸し出し、新たな生活・生産空間にする②車線幅員を適切に削減し、歩道や緑地を拡大する――など4項目のリノベーション(価値を高める改修)を要望した。

河村市長は「市民に住みやすいと思ってもらせるように取り組んでいく」と答えた。